

# 急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスについて

## ～都における運用と業務内容～

令和7年3月11日

東京都保健医療局感染症対策部



# 急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスについて

## ■急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの目的

急性呼吸器感染症（ARI）の定義に合致する症例数及び収集された検体又は病原体から、各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器感染症の発生の**傾向（トレンド）**や**水準（レベル）**を踏まえた、**流行中の呼吸器感染症を把握**する。また、**新興・再興感染症の発生を迅速に探知**する。

## ■症例定義

咳嗽（がいそう）、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁（びじゅう）、鼻閉（びへい）のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例（※発熱の有無を問わない）

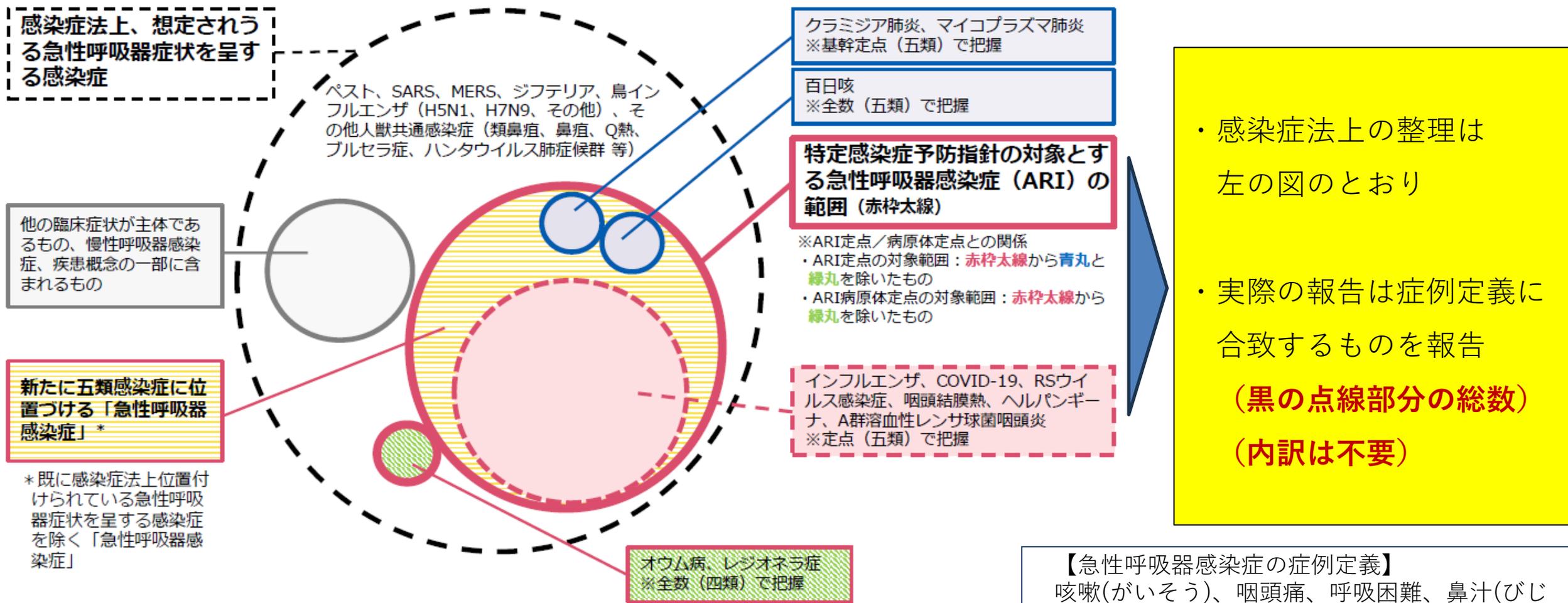
## ■国の方針等

- ・ **令和7年4月7日以降、感染症法第14条に基づく定点サーベイランス（ARIサーベイランス）を実施**
- ・ 都道府県は、既存の定点医療機関を活用して急性呼吸器感染症（ARI）患者定点／病原体定点を指定

	ARI患者定点	ARI病原体定点
国の方針・ 検討状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 週1回、年齢別／性別の患者数を報告</li><li>・ 現在の小児科定点、インフルエンザ／COVID-19定点を活用</li><li>・ 保健所管内人口に対する定点医療機関数を見直し、<u>現在の約5,000か所を3,000か所程度（全国）とする</u></li><li>・ 従来の小児科定点、インフルエンザ／COVID-19定点の疾患サーベイランスは変更なく、急性呼吸器感染症の症例定義に該当する年齢階級別の患者数を報告</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 患者から採取した検体を地方衛生研究所へ提出</li><li>・ ARI患者定点の約10%を選定する（実績優先）</li><li>・ ARI病原体定点は、営業日のうち週はじめから数えて第2営業日に収集された、はじめの5検体を目標に提出</li><li>・ ARI病原体定点から提出されたCOVID-19検体のうち月20検体について、<u>地方衛生研究所でゲノム解析を実施</u></li></ul>
都の方針・ 検討状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の小児科定点、インフルエンザ／COVID-19定点を継続して指定（<b>現在の定点数419を維持</b>）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の小児科病原体定点、インフルエンザ病原体定点を継続して指定（<b>現在の定点数41を維持</b>）</li><li>・ <b>健康安全研究センターでCOVID-19検体のゲノム解析を実施</b></li></ul>

# 感染症法上の急性呼吸器感染症（ARI）の疾患概念の整理

第2回都道府県説明会（R7.2.18）資料抜粋



急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの導入により、将来、新型インフルエンザ等感染症等が発生した場合にも、平時から継続的に動向を把握することが可能になるとともに、平時のサーベイランス体制への移行がスムーズとなることが期待される。

# 急性呼吸器感染症（ARI）患者報告について

## ARI定点医療機関の患者報告方法

### ■報告内容

小児科定点医療機関 …現在、ご報告いただいている、①小児科定点対象疾患、②インフルエンザ、③COVID-19に加え、以下の症例定義に該当する患者を年代別、性別ごとに週単位で集計したもの（疾患別内訳の報告は不要）

内科定点医療機関 …現在、ご報告いただいている、①インフルエンザ、②COVID-19に加え、以下の症例定義に該当する患者を年代別、性別ごとに週単位で集計したもの（疾患別内訳の報告は不要）

### 【急性呼吸器感染症の症例定義】

咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

### ■報告方法

- ・上記で集計した数字を、翌週、管轄保健所の定める期日までに週報として報告
- ・原則として、感染症サーベイランスシステムによる報告  
インターネット環境がない等、システムを利用できない場合は、管轄保健所で定める方法（FAX等）

### ■初回の報告

令和7年4月7日（月）～4月13日（日）分を、4月14日（月）に報告

## 定点報告

問 インフルエンザやCOVID-19の届出基準を満たし、急性呼吸器感染症（ARI）の症例定義※にも合致した場合、両方にカウントするのでしょうか？また、両方にカウントすることはサーベイランスとして問題はないのでしょうか？

（回答）

- ・はい、問題ありません。インフルエンザやCOVID-19にもカウントし、急性呼吸器感染症（ARI）にもカウントします。
- ・同一の患者を両方に計上となりますが、症候群サーベイランス（症例定義に一致している者は、何人か）と、個別疾患の発生数を把握するサーベイランスは、異なる目的で実施しており、集計時も、インフルエンザやCOVID-19の発生数と、ARIサーベイランスの人数を足し上げて公表することはありません。

## 定点報告

問 同一患者が同じ週に複数回受診した場合の報告はどうなりますか？

（回答）

- ・同一患者が同じ週に複数回受診した場合でも、症例定義※を満たす限りは、受診のタイミングごとに報告をお願いします。
- ・同一医療機関であっても、報告いただいて構いません。  
例えば、月曜日と金曜日に受診した場合、それぞれ1人としてカウントします。

※急性呼吸器感染症（ARI）の症例定義：

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

## 定点報告

問 急性呼吸器感染症として報告された患者が、後日にインフルエンザやCOVID-19と診断された場合、報告はどのようにしたらよいですか？

（回答）

- ・初診時に急性呼吸器感染症（ARI）として計上し、後日インフルエンザやCOVID-19と診断された場合は、それぞれの感染症としても、重複して報告いただいて構いません。
- ・初診時の報告を修正する必要はありません。

## 定点報告

問 後日の検査結果で他疾患と判明した場合の報告修正は必要でしょうか？

（回答）

- ・後日、別の疾患で判明した場合にも、修正の必要はありません。  
症例定義に一致する状態であったことは事実であり、誤りではありません。
- ・感染症法に基づく全数把握は、医師が当該感染症と診断した場合において届出が定められているものであり、病原体定点から収集された検体から、全数把握の対象感染症である病原体が検出された場合、検体を提出した定点医療機関の管理者へ遡って、当該感染の発生届を提出する必要はありません。
- ・なお、病原体定点から収集された検体の検査結果をもって、医師が診断をなおす必要があると判断した場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行っていただく必要があります。

# 急性呼吸器感染症（ARI）患者報告について

## 感染症サーベイランスシステムについて

- ✓ これまでの小児科対象疾患や、インフルエンザ、COVID-19は、引き続き入力する必要あり
- ✓ システムの画面は現行から変更はなし

### 定点報告入力(インフルエンザ/COVID-19)

#### 定点入力対象

調査期間 | 2025年 06週 (2025/02/03 ~ 2025/02/09)  
保健所 | 142901: 横浜市 鶴見  
定点医療機関 |

#### インフルエンザ

性別	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69
男																		
女																		

#### COVID-19

性別	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69
男																		
女																		

### 定点報告入力(小児科)

#### 定点入力対象

調査期間 | 2025年 06週 (2025/02/03 ~ 2025/02/09)  
保健所 | 142901: 横浜市 鶴見  
定点医療機関 |

#### RSウイルス感染症

性別	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20歳~
男														
女														

#### 咽頭結膜熱

性別	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20歳~
男														
女														

#### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



# 急性呼吸器感染症（ARI）患者報告について

## 都様式（紙様式）について

### 小児科定点

（小児科定点）

週報

調査期間 年 月 日 ~ 年 月 日 医療機関名:

疾患名	年齢	月																	合計		
		0~5 カ月	6~11 カ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 ~14	15 ~19	20歳 以上						
RSウイルス感染症	男																				
RSウイルス感染症	女																				
咽頭結核熱	男																				
咽頭結核熱	女																				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男																				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	女																				
感染性胃腸炎	男																				
感染性胃腸炎	女																				
水痘	男																				
水痘	女																				
手足口病	男																				
手足口病	女																				
伝染性紅斑	男																				
伝染性紅斑	女																				
突発性発疹	男																				
突発性発疹	女																				
ヘルパンギーナ	男																				
ヘルパンギーナ	女																				
流行性耳下腺炎	男																				
流行性耳下腺炎	女																				
不明発疹症	男																				
不明発疹症	女																				
川崎病	男																				
川崎病	女																				

注1) 川崎病、不明発疹症は東京都独自の報告対象疾患です。  
注2) 感染性胃腸炎については、原因の如何に関わらず、届出基準に合致する患者を診断し、又は死体を検案した場合に届出を行うこと。

疾患名	年齢	月																	合計			
		0~5 カ月	6~11 カ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 ~14	15 ~19	20 ~29							
インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等 感染症をのぞく)	男																					
	女																					
	男	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80歳 以上															
	女																					

疾患名	年齢	月																	合計			
		0~5 カ月	6~11 カ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 ~14	15 ~19	20 ~29							
新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナ ウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に、中華人民共 和国から世界保健機関に対し て、人に伝染する能力を有する ことが新たに報告されたものに 限る。)	男																					
	女																					
	男	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69	70 ~79	80歳 以上															
	女																					

疾患名	年齢	月										合計									
		0歳	1~4	5~9	10 ~14	15 ~19	20 ~29	30 ~39	40 ~49	50 ~59	60 ~69		70 ~79	80歳 以上							
急性呼吸器感染症*	男																				
	女																				

\*急性呼吸器感染症の症例定義  
咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

小児科定点  
把握疾患  
(RSウイルス、  
手足口病等)

ARI定点  
把握疾患

### 内科(ARI)定点

週報

#### 感染症発生動向調査（インフルエンザ/COVID-19定点）

調査期間 年 月 日 ~ 年 月 日

医療機関名:

	性別	0~5 カ月	6~ 11カ 月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80歳 以上	合計		
		インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型 インフルエンザ等感染症をの ぞく)	男																					
	女																							
新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス 属のコロナウイルス(令和二年一 月に、中華人民共和国から世界保 健機関に対して、人に伝染する能 力を有することが新たに報告され たものに限る。)	男																							
	女																							

	性別	0歳	1~4	5~9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80歳 以上	合計
		急性呼吸器感染症	男											
	女													

\*急性呼吸器感染症の症例定義  
咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※赤枠部分が今回追加箇所

# 急性呼吸器感染症（ARI）病原体提出について

## ARI病原体定点医療機関の検体提出方法

■提出検体 ※令和7年4月7日（月）診断分から

定点種別	対象疾患	検体数
小児科 病原体定点	感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、流行性耳下腺炎	週1～2検体
	急性呼吸器感染症の症例定義に合致するもの	※営業日のうち 週ははじめから数えて第2営業日に収集された、はじめの <b>5検体</b>
	都独自で設定している疾患 ・川崎病 ・不明発しん症	月1～2検体
内科 病原体定点	急性呼吸器感染症の症例定義に合致するもの	※営業日のうち 週ははじめから数えて第2営業日に収集された、はじめの <b>5検体</b>

※急性呼吸器感染症の症例定義に該当する患者検体は

原則、**営業日のうち週ははじめから数えて第2営業日に収集された、はじめの5検体**を目標に提出する。

ただし、**第2営業日に5検体収集できない場合は、第2営業日以外の検体も可**

(例) 月曜日が営業日、木曜日が休診の医療機関の場合：火曜日に5検体を採取

月曜日が営業日、火曜日が休診の医療機関の場合：水曜日に5検体を採取

■提出方法

現行どおり、東京都健康安全研究センターの回収車で回収（週1回を予定）

→回収日までは、冷蔵・冷凍保存をお願いいたします。

全国で同条件の検体を採取することで、統一的なサーベイランスを実施することが目的

# 急性呼吸器感染症（ARI）病原体提出について

## 病原体定点検査票について

※作成中のため、変更になる可能性があります

急性呼吸器 感染症 (ARI)	以下の症例定義に該当する患者の検体をご提出ください。 なお、ウイルス輸送用培地(咽頭拭い液・鼻腔拭い液・鼻咽頭拭い液)、細菌輸送用培地(咽頭拭い液・鼻腔拭い液)のいずれか一方をご提出ください。	
	<b>【症例定義】</b> 咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例	
	診断名	・RSウイルス感染症 ・咽頭結膜熱 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ・ヘルパンギーナ ・インフルエンザ (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性 ) ・新型コロナウイルス感染症 ・その他( )
	※ご提出いただいた検体に対しては、次の項目を検査いたします。 <b>【ウイルス系検査項目】</b> ①インフルエンザウイルス(A・B) ②SARS-CoV-2 ③ヒトパラインフルエンザウイルス1~4 ④RS ウイルス ⑤ヒトメタニューモウイルス ⑥ライノ/エンテロウイルス ⑦アデノウイルス  <b>【細菌系検査項目】</b> ①A群溶血性レンサ球菌 ②マイコプラズマニューモニエ ③百日咳菌	
小児科	診断名	・感染性胃腸炎 ・水痘 ・手足口病 ・伝染性紅斑 ・突発性発しん ・流行性耳下腺炎 ・川崎病 ・不明発しん症
眼科		・流行性角結膜炎 ・急性出血性結膜炎
性感染症		・性器クラミジア感染症 ・性器ヘルペスウイルス感染症 ・尖圭コンジローマ ・淋菌感染症 ・膣トリコモナス症
基幹		・クラミジア肺炎(オウム病を除く) ・感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスに限る) ・マイコプラズマ肺炎 ・細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因とするものを除く) ・無菌性髄膜炎 ・インフルエンザ ※入院患者のみ (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性 ) ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ・薬剤耐性緑膿菌感染症

## 【お願い】

急性呼吸器感染症の症例定義に該当する患者の検体については、医療機関の判断により、**ウイルス検査用・細菌検査用、どちらかの採取容器を選択してご提出ください。**

※改訂版の病原体定点マニュアル・検査票を作成中です

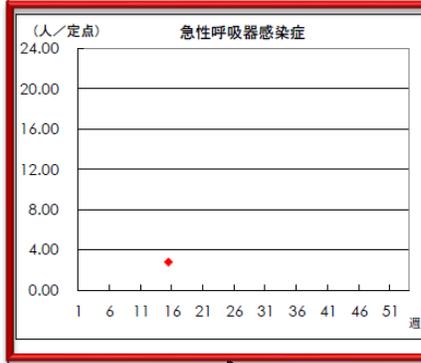
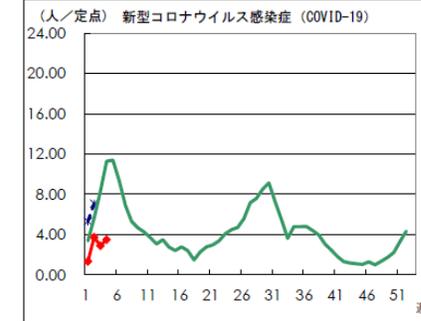
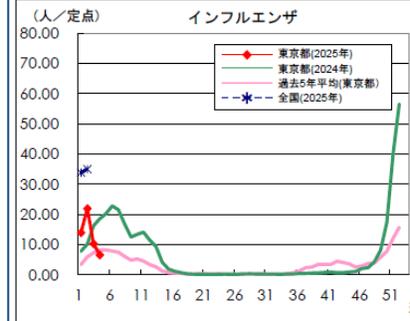
## 東京都感染症情報センター 週報

定点把握対象疾患 報告数 2025年15週

上段: 報告数 下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2025年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		12週	13週	14週	15週		
小児科	RSウイルス感染症	17	86	93	161	263	264
		0.08	0.33	0.35	0.61		
	咽頭結膜熱	12	34	27	47		
		0.06	0.13	0.10	0.18		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	409	464	610		
		0.44	1.56	1.76	2.32		
	感染性胃腸炎	174	1,515	1,572	2,097		
		0.86	5.76	5.98	7.97		
	水痘	32	157	57	92		
		0.16	0.60	0.22	0.35		
	手足口病	11	35	19	21		
		0.05	0.13	0.07	0.08		
	伝染性紅斑	77	640	610	599		
		0.38	2.43	2.32	2.28		
	突発性発しん	9	58	53	60		
	0.04	0.22	0.20	0.23			
ヘルパンギーナ		3	3	2			
		0.01	0.01	0.01			
流行性耳下腺炎	2	10	7	11			
	0.01	0.04	0.03	0.04			
川崎病 *1	6	7	2	8			
	0.03	0.03	0.01	0.03			
不明発しん症 *1	1	11	5	5			
	0.00	0.04	0.02	0.02			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ *2	4,474	9,166	4,297	2,759	418	419
		13.98	21.93	10.28	6.60		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	428	1,561	1,210	1,464		
		1.74	6.22	4.80	5.50		
	急性呼吸器感染症				1,161		2.78

◆急性呼吸器感染症定点



第15週分 (4月17日発行予定) から追加予定

## 東京都感染症情報センター ホームページ

更新日：2025年2月14日

### トピックス

#### 警報・注意報

[伝染性紅斑](#)が警報レベルにあります。(感染症ひとくち情報・報道発表)

【2025年第1週の定点当たり報告数】伝染性紅斑が前週より大幅に減少しましたが年末年始の医療機関休診の影響と考えられます。警報解除とはなりません。

警報・注意報の説明は[こちら](#)をご覧ください。

#### 急性呼吸器感染症について

[急性呼吸器感染症の流行状況](#)

#### インフルエンザについて

[東京都インフルエンザ情報](#) (最新PDF：第20号)

[インフルエンザの流行状況](#) (東京都 2024-2025年シーズン)

#### 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) について

[東京都新型コロナウイルス感染症情報](#)

一般都民向け情報は[こちら](#)をご覧ください。

医療関係者向け情報は[こちら](#)をご覧ください。

▶ [International](#)

▶ [疾患別情報メニュー](#)

▶ [WEB感染症発生動向調査](#)

▶ [医療機関向け情報](#)

▶ [外部リンク](#)

→ [東京都健康安全研究センター](#)

→ [東京都保健医療局感染症対策部](#)

→ [地方衛生研究所ネットワーク](#)

▶ [報道発表](#)

▶ [ご利用にあたって](#)

▶ [感染症情報センターとは](#)

▶ [更新履歴](#)

今後追加予定

## 東京都感染症情報センター ホームページ

[Top](#) - 疾患名で探す (類型別)

疾患名で探す (類型別)

### 1 全数把握対象疾患 (全ての医療機関から報告される疾患)

#### 一類感染症

- ◆ [エボラ出血熱](#)
- ◆ [痘そう \(天然痘\)](#)
- ◆ [マールブルグ病](#)
- ◆ [ペスト](#)
- ◆ [クリミア・コンゴ出血熱](#)
- ◆ [南米出血熱](#)
- ◆ [ラッサ熱](#)

#### 二類感染症

- ◆ [急性灰白髄炎 \(ポリオ\)](#)
- ◆ [ジフテリア](#)
- ◆ [結核](#)
- ◆ [重症急性呼吸器症候群 \(SARS\)](#)

### 2 定点把握対象疾患 (定点医療機関<指定医療機関>より報告される疾患)

- ◆ [RSウイルス感染症](#)
- ◆ [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎](#)
- ◆ [水痘](#)
- ◆ [伝染性紅斑](#)
- ◆ [ヘルパンギーナ](#)
- ◆ [インフルエンザ](#)
- ◆ [急性呼吸器感染症](#)
- ◆ [急性出血性結膜炎](#)
- ◆ [クラミジア肺炎 \(オウム病を除く\)](#)
- ◆ [咽頭結膜熱 \(プール熱\)](#)
- ◆ [感染性胃腸炎 \(ノロウイルス・ロタウイルス等\)](#)
- ◆ [手足口病](#)
- ◆ [変異性登しん](#)
- ◆ [流行性耳下腺炎](#)
- ◆ [新型コロナウイルス感染症](#)
- ◆ [流行性角結膜炎](#)
- ◆ [細菌性髄膜炎 \(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く\)](#)

今後追加予定

インフルエンザなどと同様に  
急性呼吸器感染症についての説明ページを作成予定

東京都感染症情報センター  
Tokyo Metropolitan Infectious Disease Surveillance Center

Google 提供

サイト内検索

[Top](#) - 疾患名で探す (類型別) - 急性呼吸器感染症

## 急性呼吸器感染症

更新日: 2024年9月10日

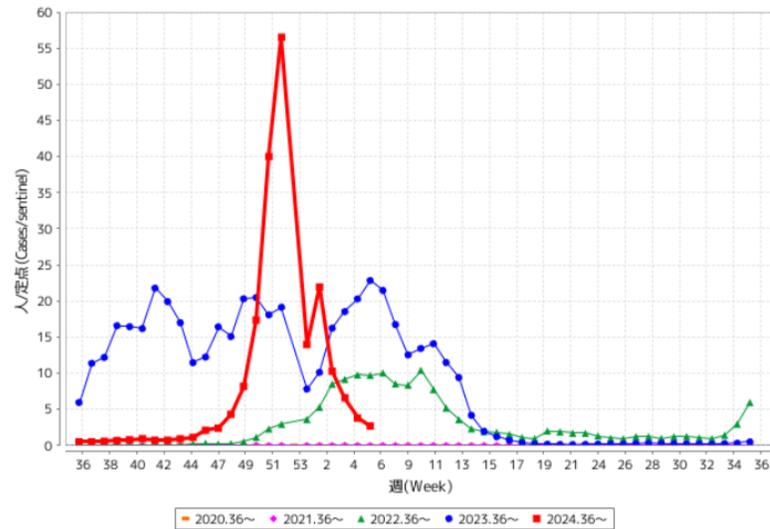
- [急性呼吸器感染症の流行状況](#)

### 1. 急性呼吸器感染症とは

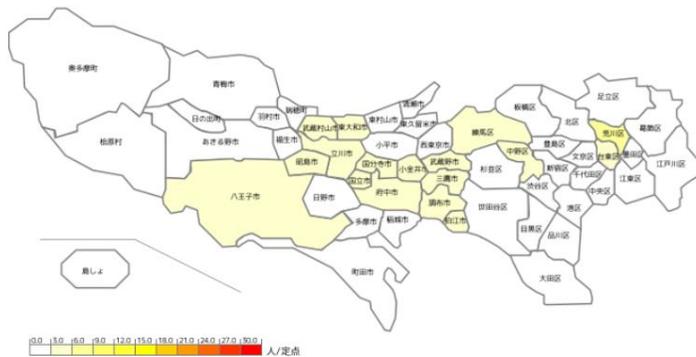
## 東京都感染症情報センター ホームページ

### 急性呼吸器感染症の流行状況

1 定点医療機関当たり患者報告数 2025年2月9日（第6週）まで



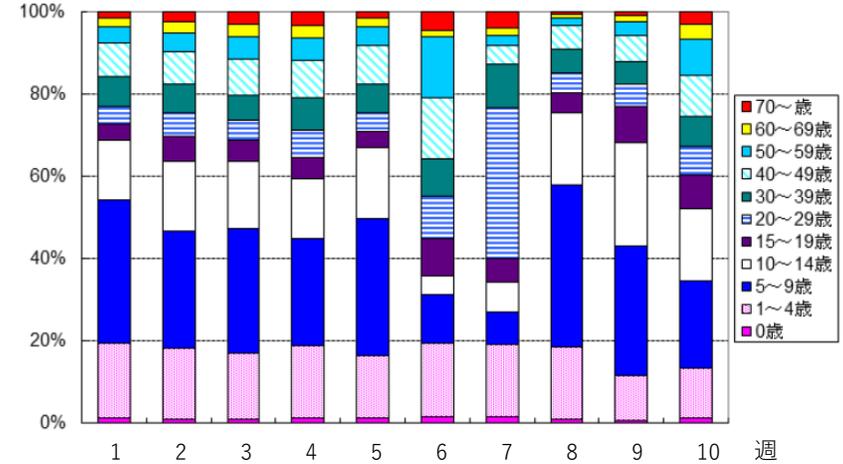
都内流行マップ（保健所別）



※ このグラフ及びマップは、原則として毎週木曜日に更新されます。

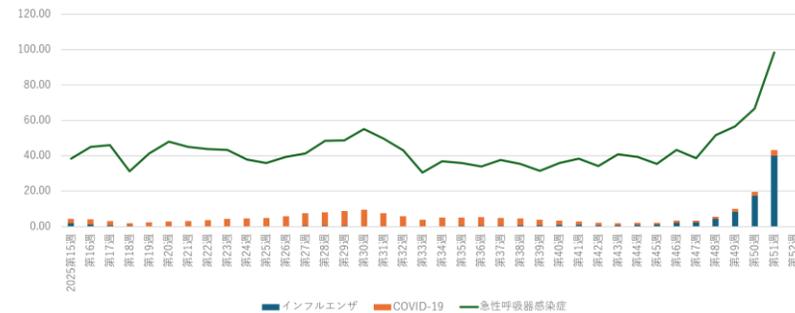
2 急性呼吸器感染症の年齢構成

過去10週 の年齢階級別患者報告割合の推移（2025年第6週まで）



3 急性呼吸器感染症とインフルエンザ、COVID-19の比較（タイトル仮）

急性呼吸器感染症定点（小児科定点及び内科定点）



グラフとマップはWEB感染症発生動向調査システムの改修が必要となるため、**4月下旬から掲載開始予定**

ご清聴ありがとうございました



都民の健康と生命を守る

東京都保健医療局